

スクミリンゴガイ ちゅう い (ジャンボタニシ) **に注意!!**

た たまご さわ
田んぼにいるスクミリンゴガイや 卵 を触らないで！
きせいちゅう も ひと かんせん かもうせい
寄生虫 を持っていて、人に感染する可能性があります！



すいへき う たまご
水壁に産みつけられた 卵



う たまご
イネに産みつけられた 卵

きけん
危険!!

さわ
触らない!!



つうじょう かっこう おお しょつかく
通常のタニシよりも殻口が大きく、触覚を
もお おお いじょう
もつ。大きいものだと5cm以上になる。

＜スクミリンゴガイの特徴＞

- 雑食性で、特に田植え直後の苗など軟らかい葉を好みます。
- 水路の側壁や水上の植物に産卵します。
- 卵はピンク色で、1つの塊に200～300の卵が入っています。
- 産卵頻度は3～4日に一度、約10日ほどで卵からかえります。
- 広東住血線虫が寄生していることがあります。